

所管事務調査報告書

産業経済建設常任委員会

1. 調査事項

- 公共工事の調査に関すること (令和2年9月25日承認議決)

2. 調査年月日

- 令和2年10月29日 計 1 回

3. 調査地

- 委員会室、町内一円工事現場

4. 説明員及び随行員(同行者)

- 千葉 副町長
- 農 林 課：名波課長、林主幹
- 建 設 課：渡部課長、山崎主幹、巴主査、新堀主査

5. 現地調査工事名等

- ① 上士幌消防庁舎建築主体・電気設備・機械設備工事
- ② まちなか住宅建設工事
- ③ 旧士幌線第三音更川橋梁補修工事
- ④ 勢多環状線道路側溝補修工事
- ⑤ レストハウス周辺整備工事

6. 調査結果

- 令和2年度発注の公共工事のうち、2件の施設建設工事と3件の施設整備・補修工事について、施工状況や完成現場等の現地調査を、委員外議員の出席をいただき実施致しました。

- ① 上士幌消防庁舎建築主体工事及び消防庁舎の主体工事に合わせて実施されております電気設備・機械設備工事について、その工事内容等について担当課から進捗状況等の説明を受け、現場確認を行いました。

本施設は町民の救急や災害などからいのちを守るための重要な施設であり、合わせて町民とのコミュニティをつかさどるスペースを持ち、署員及び団員においても効率的に使用できる施設として期待されるところです。

- ② まちなか住宅建設工事については、平成30年度に整備された4棟8戸に引き続き事業が実施され、1LDKの2棟6戸がほぼ完成したことから、その工

事内容等について担当課の説明を受け、現場確認を行いました。

町が進めている、西団地等からの住み替えも含めて、町民のニーズを踏まえた活用を期待するところです。

- ② 旧士幌線第三音更川橋梁補修工事については、橋面防水や断面補修、落下状態保存工など、施設の長寿命化と観光の目玉化を目的とした各種工事の内容を担当課から説明を受け、現場確認を行いました。

これら、アーチ橋梁群は上士幌町の歴史と観光の魅力を持ち得たものであり、今後の活用を期待するものです。

- ④ 勢多環状線道路側溝補修工事については、上流部から道路へ土砂が流入することを防ぐため、整備延長839mを2工区に分けて実施されており、その工事内容等について担当課の説明を受け、現場確認を行いました。

あらゆる災害対策や安全な道路整備は重要な課題ですが多額の費用を要するところです。長期的な道路整備を計画的に進めることを期待します。

- ⑤ レストハウス周辺整備工事については、施設駐車場の整備4,330㎡の他、旧施設の解体に伴う環境整備を目的に実施され、担当課から説明を受け、現場確認を行いました。

また、商工観光課より、今後の周辺整備の計画などについても説明を受けましたが、この施設については観光施設として安全対策はもとより、観光客がイメージできる高原牧場やより一層の滞在時間の確保が出来る仕掛けづくりを意識した整備も必要と思います。

以上、上記に示しました5工事については、現地において担当職員より工事内容・施工状況の説明を受け、工事の進捗、施設のあり方等を調査した結果、工事はおおむね良好に実施されていましてことを重ねて報告いたしました。

最後となりましたが、今回の調査に合わせて、北海道が実施しておりますバイオガスプラント、正式名称「畑地帯（育成）東部居辺地区 1工区」を視察させていただきましたことを報告するとともに、この場をお借りし、視察にご協力いただいた、北海道並びに建設工事関係者に深く感謝申し上げます。

合わせまして、農業の課題である家畜排せつ物の処理に係るバイオマスプラント施設が全地域に整備されることにより、排出される消化液の有効な活用として耕畜連携による効果を期待するところです。

今後においても、産業経済建設常任委員会の所管事務調査として、議員全員参加による公共事業調査を、取り組んで行きたいと考えております。